

乗務員教育記録簿

2025年度(令和7年度) 7月分

乗務員への指導・監督の記録

西北交通株式会社

	指導担当者	補助者
検印	非公開	

実施月日:	令和7年7月 23 日 8A ~ 2 日
時間:	15 時 00 分 ~ 16 時 00 分
場所:	北上本店営業所・矢巾営業所
実施者:	非公開
営業所名:	北上本店営業所・矢巾営業所

受講者確認欄





非公開

※この教育記録は営業所で3年間保存すること

1. 一般的な指導事項 (国交省が定める必須指導項目)

④	乗車中(運行中)の旅客の安全を確保(シートの着用等)するために留意すべき事項
⑫	ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
⑬	⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する

参考資料:[自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル<本編:一般的な指導及び監督指針の解説>国土交通省] P26-30

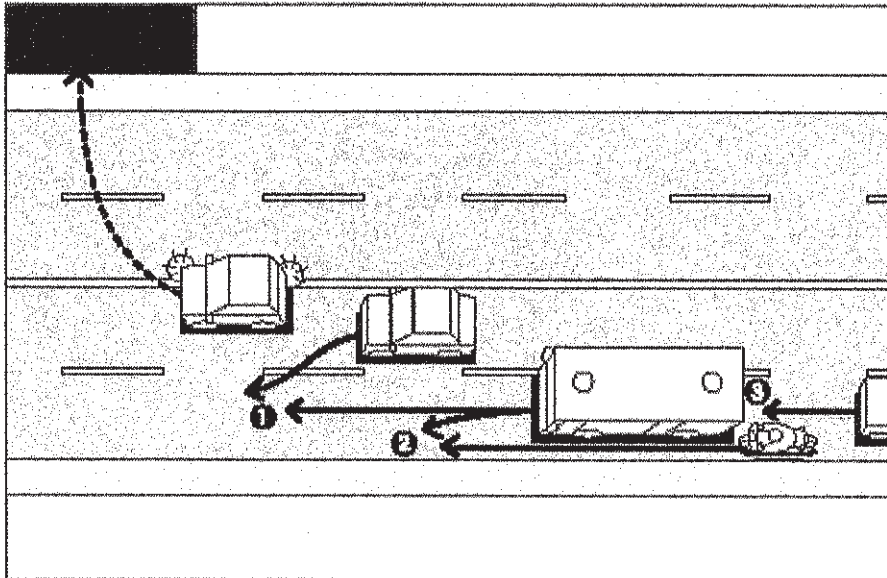
【指導・教育の内容】	IV.乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	
	(1) 「急」の付く運転はしない	
	(2) カーブでの追越しはしない	
	(3) 安全な速度と十分な車間距離を保つ	
	(4) 乗客の状況を確認する	
	(5) シートベルト着用の徹底を図る	
	(6) 走行中の運転への集中	
	参考:グッドラーニング バス安全講座4~乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	 

2.今月のドライブレコーダー/ヒヤリハット報告

<p>～乗務員の皆様へお願い～</p> <p>ヒヤリハットのご報告をお願いします。 事故防止に最適な方法です。</p> <p>軽微な接触、物損事故があった場合、自己判断せず 必ず報告をお願いします。</p>

備考	今月の重点管理 過労運転を防ぐ管理を強化しよう
	[健康管理で事故防止] 疲れたら無理せず休憩すぐにとる
	● ゆとりのある運行計画を立てる 「急ぎの心理」は事故につながる。時間にゆとりをもたせた運行計画を立て、運転者が落ち着いて運転できる管理をすすめる。
	● 車内熱中症対策に取り組む 車内温度が上がった状態で運転を続けると車内熱中症になる危険がある。こまめに水分と塩分を補給するなどの熱中症対策を呼びかける。
	● 雨天に対応した点検・整備を実施する タイヤが摩耗していないか、ワイパーが正常に作動するかなど、点検・整備を確実に実施して雨天時の安全走行を確保する。

〔バス1〕片側2車線の道路を走行



1. 主な危険要因の例

- ① 右側車線の車が、右折のために停止した車を避けるために強引に進路変更してくると、衝突する危険がある。
- ② 進路変更してきた車を避けるために左に寄ると、側方を走行してくる二輪車と接触する危険がある。
- ③ 急停止をすると、後続車に追突される危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 右側や左側の車線の車が自車の前に進路変更してくることが予測されるときは、スピードを落とすなどして車間距離を長くとり、急な進路変更にも対応できるようにする。
- ② 道路の左側端は二輪車が走行しているということを常に念頭において、左側に寄るときは必ず二輪車の有無を確認する。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 停止車同等により進路を塞がれた車が急に進路変更してくることはよくあるので、自車線だけでなく左右の車線の状況にも目を配り、起こりうる危険を予測した運転をするよう指導する。
- ② 他車に強引な進路変更や割り込みをされるとカッカしがちになるが、カッカした状態は正常な判断力や注意力を失わせるので、どのようなときでも常に平常心を保って運転するよう指導する。

バス事故ニュース

令和7年7月24日

1 2025年7月4日

4日の未明に、2件の夜行バス事故がありました。

※4日午前2時ごろ、栃木県那須塩原市の東北道下りで、横浜から山形に向かっていた大型の夜行バスが、前を走っていた大型貨物自動車に追突しました。この事故で、バスの運転手・前田幸義さん(58)が死亡したほか、交代要員の運転手と乗客合わせて14人が重軽傷を負いました。現場周辺は片側2車線の直線で、当時は小雨が降っていたため、速度は80キロに規制されていました。

※宮城県でも大型夜行バスの事故がありました。4日午前3時半ごろ、蔵王町の東北道下りで東京発山形県新庄市行き的大型バスがガードレールなどに衝突し、37歳の男性運転手が死亡、交代の男性運転手と乗客1人がけがをしました。運転手が心肺停止になったことが原因とみられ、乗客がブレーキを踏んでバスを止めたということです。

2 2025年7月5日

5日午前8時すぎ、鹿児島県鹿児島市でサッカーJ3、鹿児島ユナイテッドFCのU-15の中学生の選手が乗ったマイクロバスが電柱に衝突する事故があり、あわせて11人が病院に運ばれました。全員、意識はあり。

3 2025年7月7日

7日午後1時すぎ、滋賀県近江八幡市内の交差点でコミュニティバスが乗用車と衝突事故 バスの77歳女性客が転倒 ろっ骨骨折の疑い、バスが赤信号で交差点進入か

4 2025年7月8日

三重県御浜町で3月、大型夜行バスが国道脇の防風林に突っ込み、男性運転手=当時(57)=が死亡、乗客21人が搬送された事故で、県警は近く、自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、男性運転手を容疑者死亡のまま書類送検する方針を固めた。捜査関係者への取材で分かった。

捜査関係者によると、運転手が、体調不良を自覚していたとみられる様子がドライブレコーダーに記録されていた。県警は、異変を自覚して、事故前に止まることも可能だったにもかかわらず運転を継続し、事故を起こしたと判断した。負傷者は重軽傷者計17人だった。県警によると、事故後、運転手の男性は心臓の病気による死亡と判明した。

5 2025年7月14日

徳島道 高速バスとトラック正面衝突し炎上 2人死亡 12人重軽傷

暑さでタイヤが破裂か「突然バランスを崩し…」バス運転手が目撃 バスとトラックが正面衝突 猛暑で危険な「バースト」専門家が現場検証

トラックのタイヤが「バースト」し、対向車線にはみ出し正面衝突した。事故現場にブレーキ痕なし、トラックの運転者と乗客1名の2人死亡